

石川モンゴル親善協会だより

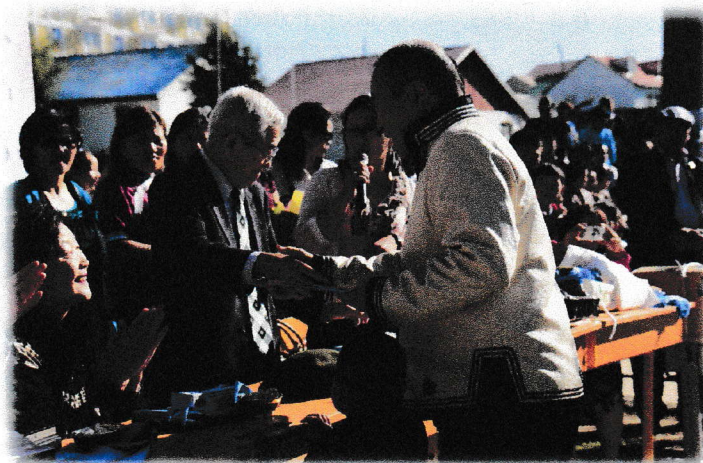
～ Байгаль Эх Байгал Эх 母なる自然 ～

第9号

石川モンゴル親善協会事務局
事務局長：藤木 正範
〒920-0862 金沢市芳斉2-11-18
TEL : 090-9449-4323
E-mail : fujiki4323@gmail.com

石川モンゴル親善協会設立7周年を迎えて ～ 会長 沢田 勲 ～

本協会が設立されて、ことしで7年の歳月が流れた。協会設立のきっかけは、2007年6月日本海沿岸国の交流を推進する環日本海国際学術交流協会が、当時のモンゴル全権駐日大使ジグジット氏を迎えて講演会を開いたことが発端である。そのころの日本とモンゴル国は、極めて緊密な関係にあり、モンゴル国では日本をロシア・中国に次ぐ第3の隣人と呼んでいた。同時に、大相撲でモンゴル出身力士が活躍するということもあり、モンゴルへの関心が全国的に高まっていた。だがわれわれ日本人にとって、モンゴルから思い浮かぶものは、チンギスハンと草原、ゴビ砂漠程度でその多くは知られていない。文字通り「近くて遠い国」なのである。わたしは、数多くの人々にモンゴルのことを知ってもらおうと、この機会に石川にもモンゴルとの親善団体をつくろうと会場で呼びかけた。幸い数多くの人に賛同を得て、石川モンゴル親善協会が設立される運びとなったのである。



92番学校への図書寄贈式 2013年の様子

当初は、石川県に住むモンゴル人へのサポートを主たる目的としていたが、やがてモンゴルの歴史と文化を広く紹介するため、モンゴル料理教室・モンゴル語会話教室などを開催して、活動の輪を広げていった。こうした地道な活動は、市民による海外交流活動として本協会の活動が全国的に注目されるようになった。やがて、ウランバートル92番学校との間に図書の寄贈や協会員と子供たちの交流を目的として、一昨年、昨年と、9月1日の入学式に協会員が学校を訪れるスタディーツアーが企画されるようになった。同時に、92番学校からも先生が金沢市の小学校を訪問され、両国の学校が交流を推進することとなった。

上記の学校交流に加えて、昨年よりゴビ砂漠の小村であるサイホンオボー村のフェルト作りを支援することも企画されている。これは「羊の毛を使った女性の手仕事をつくる」プランで、遊牧生活を離れ

て都市へ出稼ぎに行く男たちに代わって、ゲル内で細々と暮らしを支えている女たちを支援するためのものである。

以上のように設立して7年、ささやかではあるがモンゴルとの友好・親善を深めつつあると自負している。だが、私たちの力はまだまだ微弱であり、こうした小さなことの積み重ねが大切であると思う。モンゴルが好きな人、また少しでもモンゴルに関心のある人は、私達とともにモンゴルとの親善のために働いてみませんか。心から皆さんの参加をお待ちしています。

【2015年度 活動予定】

- 5月9日 H27年度総会及びモンゴル音楽舞踊会
- 6月27・28日 「金沢市国際交流まつり」料理・物品販売等
- 7月 日本紹介エクスカースション
- 8月下旬 モンゴル国スタディーツアー
- 10月 「石川県国際交流まつり」モンゴル展示等
- 12月 忘年会
- 2月 モンゴル料理教室
- 3月 モンゴル研究会



写真：H26年度忘年会の様子

新会員の声 高森もも子

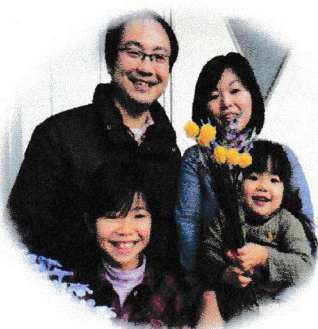
はじめまして、3年前に、主人の実家のある金沢へ避難移住して来ました。友人も居ない中でスタートに不安もありましたが、あたたかい人達との出逢いに恵まれて楽しく過ごしております。今回モンゴル親善協会に入り、またたくさんの出逢いがあることがとても楽しみです。



実は、物心ついた時から羊のぬいぐるみが側にいたため、気が付けば自他共に認める羊好きなのですが、モンゴルの羊達とも触れ合える日が今から待ち遠しいです。ちなみに姉は馬年生れで馬のぬいぐるみ。私は本当は申年なのですが、母が「サルは可愛くない」と、羊になりました。そんな私ですが、どうぞよろしくお願いします！

新会員の声 村上夫妻

村上佳子(けいこ)：群馬県生まれの群馬県育ち。金沢市には3年前に家族で移住してきました。可愛い娘が2人(8歳、4歳)います。仕事は助産師をしています。母子関係に感心が高く、世界中の母と子どもへ携わることができたらいいなと思っています！宮田さんの羊毛プロジェクトに協力していきたいと感じ、入会しました。



また、モンゴルは、広大な自然の中で生きていく遊牧民の知恵があります。彼らの生き方、考え方をぜひ知りたい！学びたい！と思っています。今は子どもが小さく、モンゴルには直接行けませんが、いつか実際に行き、そ

こでの生活を体験してみたいです。どうぞ、よろしくお願いします。

村上良平(りょうへい)：仕事はスマホのアプリなどのプログラミングをしています。社会人向けの大学院でフェアトレードをテーマにしていたこともあり、宮田さんの羊毛のプロジェクトとモンゴルに興味をもったため、入会させていただきました。出身は横浜市なのですが、親の仕事の関係で小学2～5年は北陸学院小学校、高校2～3年は桜丘高校に通っていました(両親は今も金沢に住んでいます)。

3年前に家族(妻と娘2人)と金沢に戻り、今では子供

達の金沢弁もなかなかそれらしくなってきました。色々なことに楽しく取り組んでいければと思っていますので、よろしくお願いします。

新会員の声 アリオンボルド

My name is Ariunbold, N. I am a medical doctor and is a urologist. I live in Ulaanbaatar city, Mongolia. I am married and have got 2 children. I have worked the Hospital for 10 years. I am very pleased to come in Kanazawa. There is really nice, clear and tidy in Kanazawa. I came here for the first time in Japan. I am studying in the doctoral course at the Kanazawa University.



私はアリオンボルド、Nと申します。医師をしており、泌尿器科医です。モンゴルのウランバートル出身です。結婚し、2人の子供がいます。病院で10年間働いておりました。金沢に来られて非常に嬉しいです。金沢は本当に素晴らしく、きれいで美しいところです。日本に来るのは初めてです。今、金沢大学の博士課程で勉強しております。

新会員の声 ベルツェツェグ

私の名前は、ベルツェツェグです。今、17歳です。高校を卒業してから金沢に来ました。日本語をもっと勉強するために、今アリス学園に通っています。金沢に来て色々な美しい所を見ました。日本人も色々なことを手伝ってくれて、すごく親切でした。高い教育水準を目指すために日本に来ました。これから日本の大学を卒業してから、日本中を旅行したいです。



新会員の声 メンドバヤル



私は、メンドバヤルです。今26歳です。モンゴルの大学の英語通訳・教員コースを卒業しました。2015年の4月10日に金沢のアリス学園に来ました。初めて金沢に来たとき、この全てが違いました。私は、日本の大学に留学して、日本の

文化を勉強するために、日本へ来ました。せっかく日本に来たのでもっと都会とか、伝統的なものとか、いろいろな所へ行ってみたいです。

新会員の声 ツオルモン



僕の名前は、ツオルモンです。日本に去年の10月に来ました。今17歳です。高校を卒業してから、日本に来ました。私の趣味は、ビルのデザインを描くことです。日本へ建築を学ぶために来ました。日本へ留学した理由は日本は、ビルや建物のデザインが豊かな国だからです。他の国と比べると安全な国です。

日本は優しい人もいっぱいだし、自然も美しいし、きれいです。日本に来た時から今まで日本人の皆さんに、大変お世話になっております。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

新会員の声 ナムーン

私の名前は、ナムーンです。去年の10月に金沢に来ました。今はだいぶ慣れてきましたが、まだ不思議に思うことでいっぱいです。金沢に来て初めて一人暮らしをしました。いろいろ大変だったが日本人の



暖かい手助けのおかげで、ほかの留学生と比べると困ったことは、少なかったと私は思います。アルバイト先の人、学校の先生たち、それからモンゴル協会の人々、みんな両親の代わりに、お母さんになったり、お父さんになったりしていました。希望の大学を卒業して、国が日本みたいに発展している国にするため、自分ができるだけのことやりたいと思い、日本に来ました。

お別れの声 トヤ

I consider myself very lucky to come to Japan, especially in Kanazawa. Because my husband and I had learned so many things from this great nation Japan and had opportunity to meet many nice Japanese people here. The people from Ishikawa - Mongolian Association helped us so many times from their heart. I am so grateful for all of you for your passionate interest and generosity to Mongolian people. My husband, my daughter who was born in Kanazawa, and I will never forget how awesome Japan is and how wonderful Japanese people are. Thank you very much. Tugsuu, Tuya and Tankhiluun.

私は日本、特にここ金沢に来られたことを非常に幸運だと思っています。主人と私はたくさんこの素晴らしい国から学び、ここでたくさんの素敵な日本人と会う機会を得ました。石川モンゴル親善協会の人々には何度も親切にいただきました。みなさんのモンゴルの人々に対する寛大さや情熱的な好奇心に感謝しております。私は主人と金沢で産まれた娘とともに、日本そして日本人の素晴らしさを忘れません。ありがとうございました。トグソー（父）、トヤ（母）、タンヒローン（娘）



2014年スタディツアー報告会

石川モンゴル親善協会にとって初めてのツアーだった一昨年のツアーに続いて、2回目のツアーを2014年の8月後半から9月にかけて実施した。今回のツアーは、JICA 海外プログラム参加のツアーということで JICA からの支援をいただいた。帰国後には報告会を広く一般の方々にも向けて行うという課題があり、北陸 JICA から職員の方々そして協会員以外の方々も招いて、去年の10月12日、金沢市近江町交流プラザ4階和室にて報告会を行った。ツアー団長をはじめ参加者がそれぞれ感想などを述べて、その後「遊牧民の暮らし」をスライドで上映した。なかなか普通の観光旅行では触れることができないモンゴル奥地の暮らしやツアーのテーマである「羊の毛を使った手仕事」に関する様子も観てもらうことができた。報告会はその後も続けて行っていて、5月にも予定している。

海外プログラム参加団体として、2014年度のツアーの様子を北陸 JICA のホームページ（facebook ページにも）と広報誌「JICA 北陸's World」に掲載して頂いた。（www.jica.go.jp JICA 北陸ウェブサイトをご参照ください） ◆宮田

活動報告 モンゴル人教師2名の来日



ウランバートル第92番学校（小中高一貫学校）から先生お二人（ヤダムスレン・オトゴンバト教頭と日本語教師のプヤンデルケル・ウーガンツェツェグ先生）が2014年6月16日か日本の教育や文化を学ぶため金沢を訪れた。当協会として平成25年の第92番学校との交流事業の一つとして金沢市教育委員会の協力を得て実現した。

お二人は金沢市内の田上小学校、杜の里小学校、兼六中学校で各1週間ずつ研修を受けられた。また、野口教育長及び玉川図書館館長を表敬訪問するなどし、7月4日まで金沢に滞在した。協会会員有志による歓迎会も開かれ、友好を深めた。

休日には、初めて「海と水族館」を体験し、波打ち際に海水やさざ波を満喫。水族館にて海の生物、特にイルカを見て感動した。 ◆渡辺・森



活動報告 モンゴル研究会

3月28日（土）、拡大理事会の後、五時より沢田勲氏による「モンゴル騎馬遊牧民と中国」という題目の講演が行われた。古代の大陸に展開された民族間のさまざまな攻防、時には融合に思いを馳せながら大変興味深く聞いた。諸説の疑問点や問題点にも言及され、門外漢にもわかりやすかった。会員外の参加も含め約15名ほどが参加した。 ◆杉原



活動報告 モンゴル料理教室

2015年1月25日に恒例のモンゴル料理教師が専門学校アリス学園・調理実習室にて開催された。メニューはモンゴル家庭料理のツオイワン（蒸し焼きうどん）とバンシュタイショル（水餃子スープ）の2品。4名の留

学生を先生役とし、20名以上の会員及び非会員の方が参加した。羊肉や留学生が母国から取り寄せた調味料を使うなど、本場の味を再現し、モンゴル料理作りを楽しんだ。 ◆道上



活動報告 国際交流まつり

恒例の国際交流まつりは6月28日（土）と29日（日）のき迎賓館裏の芝生会場にて開催された。あいにくの雨だったが、賑やかな2日間だった。今年もモンゴル留学生がボーズ、スーテー茶、肉うどんを作ってくれて、多くのお客様にお買い求め頂いた。また、物品販売もゲル模型、ラクダのぬいぐるみ、パンケース、キーホルダーなどが好評だった。その結果、2日間の売上は近年で最高になった。

また、初日には金沢市長の山野氏や前モンゴル大統領秘書官のツベック・ドルジーご夫妻（写真一番左女性と中央男性）もモンゴルブースにお立ち寄り頂いた。



活動報告 忘年会

平成26年石川モンゴル親善協会忘年会在12月13日（土）に内モンゴル出身の風無ちちご（ツェツェグ）さんの日本モンゴル料理店『月下老人』にて開催された。会員16名、モンゴル人7名（金沢大学留学中のドヤ、バートル、アリス学園で日本語を修学中のウルジー、ツォルモン、ベレー、ナムーン、会社員のゾラー）計23名が参加した。日本料理、モンゴル料理の大きな餃子、蒸した塩味の羊肉料理を堪能し、お酒も入りさらにはビンゴゲーム、ナムーンさんの馬頭琴演奏、モンゴル人達のモンゴル国家斉唱等、賑やかに会員間、日蒙の交流親睦を高めた。 ◆清水